



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 安永

コード番号 7271 URL <http://www.fine-yasunaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安永 暁俊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 浅井 裕久

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

TEL 0595-24-2122

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第2四半期 | 16,887 | △12.1 | 329 | △69.0 | 299 | △73.2 | △117 | — |
| 24年3月期第2四半期 | 19,206 | 13.1 | 1,061 | △5.2 | 1,114 | 8.3 | 744 | 19.8 |

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 △163百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 740百万円 (19.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第2四半期 | △9.83 | — |
| 24年3月期第2四半期 | 62.25 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 |
|-------------|--------|---|--------|---|--------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % |
| 25年3月期第2四半期 | 29,142 | | 10,678 | | 36.6 |
| 24年3月期 | 30,397 | | 10,937 | | 36.0 |

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 10,678百万円 24年3月期 10,937百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 10.00 | — | 8.00 | 18.00 |
| 25年3月期 | — | 5.00 | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | — | — | 7.00 | 12.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|------|-------|------|-------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 33,720 | △7.1 | 370 | △68.5 | 280 | △73.5 | △60 | — | △5.02 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 25年3月期2Q | 12,938,639 株 | 24年3月期 | 12,938,639 株 |
| 25年3月期2Q | 975,182 株 | 24年3月期 | 975,126 株 |
| 25年3月期2Q | 11,963,492 株 | 24年3月期2Q | 11,963,604 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当社は、平成24年11月20日(火)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 4 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 11 |
| (5) セグメント情報等 | 11 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や政策効果に支えられ回復を続けてきましたが、海外経済の減速による輸出減少や生産活動の停滞が見られる上、長引く円高や日中摩擦の企業活動への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である自動車業界においては、国内は、新車販売を下支えしてきたエコカー補助金が9月に終了し、今後の反動減が懸念されております。海外では、北米や東南アジア等の市場は堅調ながら、世界最大市場の中国は経済回復の遅れや領土問題を巡る日本車買い控え等を背景に市場は減速傾向にあります。一方、太陽電池業界においては、欧州需要の落ち込みと熾烈な価格競争によるメーカー収益悪化により、市場環境は依然低迷しております。

このような企業環境下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高168億87百万円（前年同期比12.1%減少）、営業利益3億29百万円（前年同期比69.0%減少）、経常利益2億99百万円（前年同期比73.2%減少）、四半期純損失1億17百万円（前年同期は7億44百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

【エンジン部品事業】

エコカー補助金効果等で好調な国内自動車メーカー向け及び成長市場であるインドネシア子会社での売上が増加しましたが、利益面では新規ラインの立上げ費用等がマイナス要因となりました。

その結果、売上高は131億10百万円（前年同期比5.6%増加）、営業利益は6億18百万円（前年同期比12.1%減少）となりました。

【機械装置事業】

自動車向けの工作機械は、海外自動車メーカー向けの販売が減少したため、売上は低調となりました。

一方の太陽電池関連は、市場環境の悪化に伴い太陽電池メーカーの設備投資が抑制されており、ワイヤソー等の販売が引き続き低迷しております。

その結果、売上高は22億87百万円（前年同期比58.1%減少）、営業損失は3億62百万円（前年同期は2億42百万円の営業利益）となりました。

【環境機器事業】

新型エアポンプの販売が売上に寄与しましたが、利益面では新商品の立上げ費用及びディスプレイシステム事業がマイナス要因となりました。

その結果、売上高は13億15百万円（前年同期比12.3%増加）、営業利益は47百万円（前年同期比21.3%減少）となりました。

【その他の事業】

当セグメントには、運輸事業およびサービス事業を含んでおります。

売上高は1億75百万円（前年同期比10.4%増加）、営業利益は26百万円（前年同期比94.0%増加）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ12億54百万円（前連結会計年度末比4.1%）減少し、291億42百万円となりました。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ9億78百万円(前連結会計年度末比5.4%)減少し、172億14百万円となりました。

この減少の主な要因は、現金及び預金の減少5億33百万円等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2億76百万円(前連結会計年度末比2.3%)減少し、119億27百万円となりました。

この減少の主な要因は、建物及び構築物の増加10億25百万円等がありますが、建設仮勘定の減少13億20百万円等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ3億62百万円(前連結会計年度末比2.9%)減少し、122億18百万円となりました。

この減少の主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加2億4百万円、支払手形及び買掛金の増加1億91百万円等がありますが、未払金の減少9億38百万円等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ6億33百万円(前連結会計年度末比9.2%)減少し、62億45百万円となりました。

この減少の主な要因は、長期借入金の減少5億86百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2億59百万円(前連結会計年度末比2.4%)減少し、106億78百万円となりました。

この減少の主な要因は、利益剰余金の減少2億13百万円等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当社グループの当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間に比べ3億48百万円(前年同期比10.1%)減少し、31億15百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、19億円(前年同期は92百万円の増加)となりました。これは主に、減価償却費9億41百万円、法人税等の還付額4億円、未収消費税等の減少額3億19百万円等の増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、20億47百万円(前年同期は14億64百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出20億48百万円等の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、4億7百万円(前年同期は9億61百万円の増加)となりました。これは主に、長期借入れによる収入5億円等の増加要因及び長期借入金の返済による支出8億81百万円等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年10月11日に修正しております。詳細につきましては、平成24年10月11日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ34百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,650 | 3,117 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,164 | 7,316 |
| 商品及び製品 | 960 | 919 |
| 仕掛品 | 3,213 | 3,649 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,554 | 1,470 |
| 繰延税金資産 | 252 | 70 |
| 未収入金 | 476 | 450 |
| その他 | 1,148 | 445 |
| 貸倒引当金 | △227 | △224 |
| 流動資産合計 | 18,193 | 17,214 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 8,615 | 9,640 |
| 減価償却累計額 | △5,717 | △5,817 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,898 | 3,822 |
| 機械装置及び運搬具 | 21,421 | 22,147 |
| 減価償却累計額 | △17,528 | △18,038 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 3,892 | 4,108 |
| 工具、器具及び備品 | 6,353 | 6,448 |
| 減価償却累計額 | △6,020 | △6,039 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 332 | 408 |
| 土地 | 1,911 | 1,955 |
| 建設仮勘定 | 1,797 | 477 |
| 有形固定資産合計 | 10,833 | 10,774 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 53 | 45 |
| その他 | 82 | 80 |
| 無形固定資産合計 | 135 | 125 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 516 | 465 |
| 繰延税金資産 | 182 | 148 |
| その他 | 1,014 | 892 |
| 貸倒引当金 | △478 | △478 |
| 投資その他の資産合計 | 1,235 | 1,027 |
| 固定資産合計 | 12,204 | 11,927 |
| 資産合計 | 30,397 | 29,142 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,624 | 4,815 |
| 短期借入金 | 2,100 | 2,200 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,713 | 1,918 |
| 1年内償還予定の社債 | 60 | 60 |
| 未払金 | 2,952 | 2,014 |
| 未払法人税等 | 32 | 106 |
| 賞与引当金 | 460 | 378 |
| 工事損失引当金 | 13 | 22 |
| 訴訟損失引当金 | 38 | — |
| 設備関係支払手形 | 20 | 34 |
| リース資産減損勘定 | 223 | 223 |
| その他 | 341 | 444 |
| 流動負債合計 | 12,581 | 12,218 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 180 | 150 |
| 長期借入金 | 6,065 | 5,478 |
| 繰延税金負債 | — | 89 |
| 退職給付引当金 | 77 | 77 |
| 役員退職慰労引当金 | 58 | 63 |
| 環境対策引当金 | 76 | 76 |
| 資産除去債務 | 74 | 74 |
| 長期リース資産減損勘定 | 346 | 234 |
| 固定負債合計 | 6,878 | 6,245 |
| 負債合計 | 19,459 | 18,463 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,142 | 2,142 |
| 資本剰余金 | 2,114 | 2,114 |
| 利益剰余金 | 7,251 | 7,038 |
| 自己株式 | △330 | △330 |
| 株主資本合計 | 11,178 | 10,964 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 120 | 80 |
| 為替換算調整勘定 | △361 | △367 |
| その他の包括利益累計額合計 | △240 | △286 |
| 少数株主持分 | 0 | 0 |
| 純資産合計 | 10,937 | 10,678 |
| 負債純資産合計 | 30,397 | 29,142 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 19,206 | 16,887 |
| 売上原価 | 16,345 | 14,951 |
| 売上総利益 | 2,860 | 1,936 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,798 | 1,607 |
| 営業利益 | 1,061 | 329 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 4 |
| 受取配当金 | 6 | 5 |
| 受取賃貸料 | 11 | 13 |
| 為替差益 | 39 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 30 | — |
| その他 | 18 | 40 |
| 営業外収益合計 | 108 | 64 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 43 | 48 |
| 為替差損 | — | 8 |
| その他 | 12 | 37 |
| 営業外費用合計 | 55 | 94 |
| 経常利益 | 1,114 | 299 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 33 | 32 |
| その他 | — | 0 |
| 特別利益合計 | 33 | 32 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 9 | — |
| 固定資産除却損 | 3 | 4 |
| 投資有価証券評価損 | 32 | — |
| リース解約損 | — | 3 |
| その他 | — | 0 |
| 特別損失合計 | 45 | 8 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,102 | 323 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 329 | 126 |
| 法人税等調整額 | 28 | 314 |
| 法人税等合計 | 358 | 440 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | 744 | △117 |
| 少数株主利益 | 0 | 0 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 744 | △117 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-------------------------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | 744 | △117 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △31 | △40 |
| 為替換算調整勘定 | 27 | △5 |
| その他の包括利益合計 | △3 | △45 |
| 四半期包括利益 | 740 | △163 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 740 | △163 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 0 | 0 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,102 | 323 |
| 減価償却費 | 798 | 941 |
| 減損損失 | 9 | — |
| のれん償却額 | 7 | 7 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △33 | △32 |
| 有形固定資産除却損 | 3 | 4 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | — | △0 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 32 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △42 | △3 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 3 | 2 |
| 前払年金費用の増減額(△は増加) | 96 | 96 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △12 | 4 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △50 | △81 |
| 訴訟損失引当金の増減額(△は減少) | — | △38 |
| 受取利息及び受取配当金 | △8 | △10 |
| 支払利息 | 43 | 48 |
| 為替差損益(△は益) | △33 | 7 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,239 | △159 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △373 | △322 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 312 | 194 |
| 前受金の増減額(△は減少) | △67 | 66 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | 231 | 319 |
| その他 | 282 | 242 |
| 小計 | 1,061 | 1,611 |
| 利息及び配当金の受取額 | 9 | 13 |
| 利息の支払額 | △43 | △48 |
| 法人税等の還付額 | 0 | 400 |
| 法人税等の支払額 | △935 | △75 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 92 | 1,900 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の純増減額(△は増加) | 0 | △0 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,509 | △2,048 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 35 | 42 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 0 |
| 貸付けによる支出 | 0 | — |
| 貸付金の回収による収入 | 30 | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | △5 | △13 |
| その他 | △14 | △28 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,464 | △2,047 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 1,200 | 100 |
| 長期借入れによる収入 | 1,251 | 500 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,325 | △881 |
| 社債の償還による支出 | △30 | △30 |
| 配当金の支払額 | △133 | △95 |
| その他 | 0 | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 961 | △407 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 6 | 20 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △403 | △533 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,867 | 3,649 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,464 | 3,115 |

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3 |
|-----------------------|------------|-------|-------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | エンジン 部品 | 機械装置 | 環境機器 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,416 | 5,459 | 1,170 | 19,047 | 159 | 19,206 | — | 19,206 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 212 | — | 212 | 275 | 488 | △488 | — |
| 計 | 12,416 | 5,672 | 1,170 | 19,259 | 434 | 19,694 | △488 | 19,206 |
| セグメント利益 | 704 | 242 | 59 | 1,006 | 13 | 1,020 | 41 | 1,061 |

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額41百万円には、セグメント間取引消去41百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3 |
|-----------------------|------------|-------|-------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | エンジン 部品 | 機械装置 | 環境機器 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,110 | 2,287 | 1,315 | 16,712 | 175 | 16,887 | — | 16,887 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 0 | 11 | 0 | 11 | 277 | 289 | △289 | — |
| 計 | 13,110 | 2,298 | 1,315 | 16,723 | 453 | 17,177 | △289 | 16,887 |
| セグメント利益 又は損失（△） | 618 | △362 | 47 | 303 | 26 | 329 | △0 | 329 |

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失（△）の調整額△0百万円には、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「エンジン部品」のセグメント利益が31百万円増加し、「機械装置」のセグメント損失が0百万円減少し、「環境機器」のセグメント利益が2百万円増加しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。